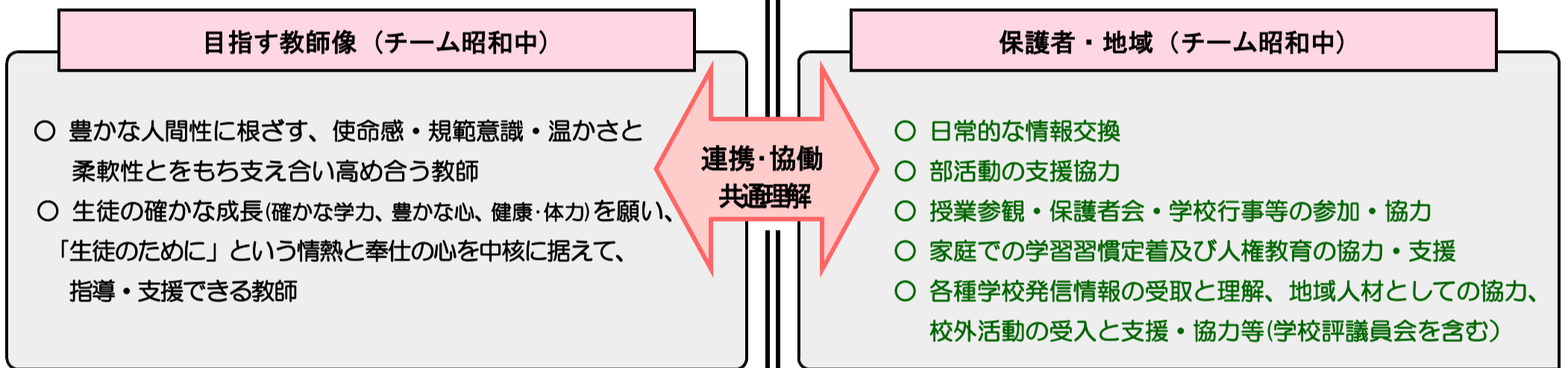
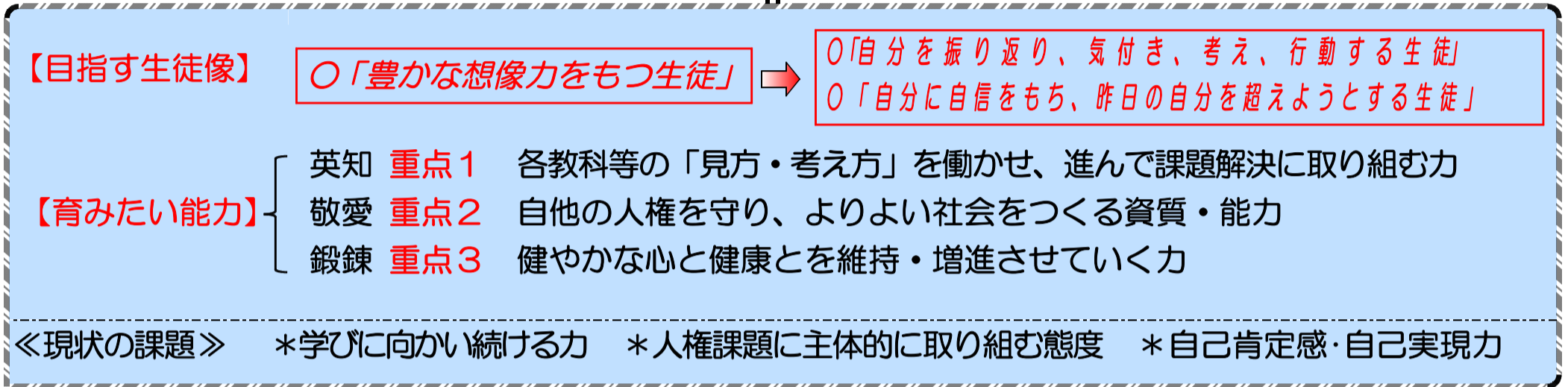


# 令和5年度 昭和村立昭和中学校 グランドデザイン【学びの地図】

【生徒数170名】



何を学ぶのか (教育課程の編成)	どのように学ばせるのか (教育課程の実施・プロセス)	何ができるようになるのか (教育課程の評価)
<b>重点1</b> 各教科等の「見方 考え方」を働かせ、 進んで課題解決に 取り組む力	a)ねらいの明確化、振り返りの重視、適切な学習評価を通じて育成します。 b)対話的な学びを重視した授業、言語活動の充実、メリハリのある授業展開等で育成します。 c)生徒の実態に応じた支援(補習や家庭学習の支援など)を通じて基礎基本の習得を目指します。 d)地域の方や文化の協力と学校図書館充実事業の成果を生かして育成します。	⇒学ぶ意義を理解し、身に付けた知識や技能を活用して主体的に課題を解決する態度が身に付きます。 ⇒他者を尊重しながら思考力等を高め、協働的に課題を解決していく力が身に付きます。 ⇒自分の考えを深め課題解決に必要な必要な知識や技能が身に付きます。 ⇒地域を愛する心、ICTリテラシー、人権教育に必要な知識等が身につきます。
<b>重点2</b> 人権課題に主体的 に取り組む態度	e)全教育課程で、お互いのよさを生かし合う場面を重視した指導を工夫して育成します。 f)道徳科の授業改善の継続と学級活動の充実を通じて育成します。 g)授業・生徒会活動・部活動・行事活動において、人権感覚の育成を柱に、人間関係力の向上を通じて育成します。	⇒協働的に学ぶことのよさを実感し、自分と異なる立場や意見を理解し課題を解決しようとする姿勢が身に付きます。 ⇒道徳的価値を自分事として捉え、自他を尊重しよさを生かして自己決定していけるようになります。 ⇒他者との生活上の軋轢や課題に向き合い、個人で解決できない課題にも他者と協働して解決していく力が育ちます。
<b>重点3</b> 健やかな心と健康 とを維持・増進さ せていく力	h)日常的観察と適時的かつ適切な相談活動を生かして育成します。 i)思春期の心身の健康に関する知識と意欲について考える学校保健委員会や生徒会活動を通して育成します。 j)体力向上プランの実践(保健体育授業中心)により育成します。 k)「適切な部活動の運営」を保護者と連携して進めます。	⇒他者を信頼し相談する力、いざという時にSOSを発信する姿勢が身に付きます。 ⇒自分の心身の状況を的確に把握し、心身の健康の維持増進に向けた自己管理能力が身に付きます。 ⇒自分自身の状況に応じた体力向上に取り組む力がつきます。 ⇒集団と自己に関わる自己実現力が身に付きます。

